

人情味と笑いの絶えない門真を目指して！

2月15日、門真市と市内13郵便局が包括連携協定を締結した。これまで両者は①平成13年「災害時における相互協力に関する協定」、②平成28年に「高齢者の見守りに関する協定書」、③平成30年に『郵便局のみまもりサービス』をふるさと納税の返礼品とすることに関する協定書」をすでに締結。門真市が全国に先駆けて行っている子どもの貧困対策「子どもの未来応援ネットワーク事業」、子どもの見守りや認知症サポートー養成等による地域の見守り活動の強化、4月開設予定の「子どもLOBBY」や職場体験の受入れ、郵便局内に市役所情報コーナーを設置し、地域の郵便局としての強みを生かした市内全域の発展的な取り組みを推進することになった。

宮本一孝門真市長は「コロナ禍で、市民ニーズが個別化しているなか、有益な形で地域の社会資源を活用できることはありがたい。市民のためになる市役所として本協定は拠り所となる」と挨拶。門真新橋郵便局津田典行局長は「目の前の小さなことに取り組みながら大きな問題を解決したい。郵便局が地域の安



宮本門真市長(左から2人目)と右に津田門真新橋郵便局長

心・安全に役立つよう頑張ります」と、持続可能な社会を目指すためのSDGsを課題にする決意を述べた。そして、列席していた門真郵便局今井幸夫局長、門真上島頭郵便局溝口悦弘局長、門真月出郵便局栗林哲也局長とともに市長と固い握手を交わした。